

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 29 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

1.初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 河口・青木・宮崎・高田・谷口・小笠原・花田・河井・中橋・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画

情報を得たスタッフが申し送りノートや口頭で共有する
連絡帳を活用しスタッフ、家族間で利用者様に関する事項を共有していく

前回の改善計画に対する取組み結果

連絡帳を活用しご家族からの要望等にお答えすることが出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか?	4	9	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	6	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10	1	0	14

できている点

申し送り等で情報を共有できている。連絡帳の利用で家族との連絡もできている。カンファレンスを活用し職員間の情報共有はできている。訪問時なども声かけして困った事や情報シートに記入されていないことなど聞くことが出来ている。本人家族が不安にならないように、優しく声かけし、家族介護者への配慮を心がけている。本人家族の希望に近いサービス提供が行えていると思う。ご家族の満足度の確認は出来ていないが、利用者の方の表情が良く支援の手ごたえを感じている。狭い空間なので、常に誰かが声かけ見守り気配りしている。

できていない点

口頭で共有した情報は職員全体にいきわたらないことがある。職員間でのミーティングが足りていないため、職員間の情報共有が難しい。全員でのミーティングはしていないが、情報フェイスを読みホーム長に確認する等情報収集に努めている。家族の不安等の情報は知り得るが関係作りへの配慮は管理者に任せていることが多い。カンファレンスノートの見落としや、口頭での情報が職員全員に届いていない内容がある。

次回までの具体的な改善計画

全体会が再開されたため(1~2ヶ月に1回)その機会にミーティングをすることが望ましいと思う。カンファレンスノートを必ず見ることを徹底する。大事なことは口頭ではなくノートに書くようにする。仕事始めに申し送りノートを見る。サインも一項目ごとにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 29 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 河口・青木・宮崎・高田・谷口・小笠原・花田・河井・中橋・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	6 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画

もっと発言する機会がほしい。個々の目標を決め朝礼時に確認しあい状態に応じて目標がそぐわない時は検討す 認知力低下の為聞き出せない聞き出せないというよりも意思を伝えることが困難 新たに職員用のレターケースを設置し活用していく

前回の改善計画に対する取組み結果

職員用のレターケースを設置し、意見を随時発言できるようになった。連絡事項のやり取りがスムーズになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	7	3	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	8	3	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	10	2	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	3	0	14

できている点

朝礼時個々の目標を確認し、その日に行えそうな状態の方には促がしているし、日々の介助も行っている。初期支援の時より本人家族を含めて本人の目標については必ず聞くように努めている。日々の行事などを通して出来ている事出来ていないことのふり返りが出来ている。

できていない点

カンファレンス、アセスメントからの目標は、本人の希望する目標(ゴール)ではない。ケアプランの本人の目標についての話し合いを行っていない。目標についての振り返りを行う時間が少ないと思う。その日の状態体調に合わせているため出来ない日もある。「～したい」と言った本人の目標が聞き出せていない。長期目標を聞き出し知り、それに向かったの短期目標をあげないといけなが目の前のことで終わっている。本人中心となっていない(本人に直接～したいを聞いていない)当面の目標については体調不良等もありいつもそれに向けてかかわりが出来ているわけではない。最終の目標(ゴール)設定は出来ていない。身近に出来る目標を設定している。関わった内容を振り返ることは、していない。最終の目標(ゴール)設定は難しい。日々表情良く穏やかに過ごしていただくことが当面の課題である。排泄のケアにも

次回までの具体的な改善計画

職員間でもっと話し合うことが大切だと思う。皆の意識を高める。一日の終わりにリーダーがチェック、記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 17:00~19:00

3.日常生活の支援

メンバー 河口・青木・河田・花田・岡本・高田・小笠原・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	2 人	1 人	14 人

前回の改善計画
 以前の暮らし方もアセスメントに入れてみては？
 家人と直接関わったスタッフがスタッフへ情報を共有する

前回の改善計画に対する取組み結果
 家人と直接関わった夜勤者等が発信していくことができつつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	4	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10	4	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	3	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	7	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	12	0	0	14

できている点
 個々の状態に合わせた介護が出来ている。体調に合わせて食事や入浴、排泄等、職員間でよく話し合っている。家族と関わり知り得た情報はカンファレンスノートに記入したり申し送りをしたりして、他の職員と共有が出来ている。利用時に会話の中から本人の声にならない声を引き出すようにしている。自分で答えられる利用者には普段の会話の中から以前の生活等教えてもらっている。狭い空間で、支援しているため常に対面していることが多く身体面精神面での情報が得やすく細やかな援助が出来ていると思う。

できていない点
 情報に(フェイスシートに)そこまで記入されていないため、本人の以前の暮らし方10個以上の把握ができていない。家での生活の様子についての情報が少ない。本人と地域の関わり以前の暮らしについて分からないことが多い。日常生活で、必要なことは、家族に聞くことはあるが、主に食事面、排泄面が多く、自宅での行動範囲、夜間の状況ご家族との関わり等良く分からないことが多い。(ご家族の性格や本人との関係性において聞きにくいこともある)

次回までの具体的な改善計画
 日々の関わりの中で心境の変化・体調の変化にきづくことができる。以前の改善計画の項目を作り、皆で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

4.地域での暮らしの支援

メンバー 河口・青木・河田・花田・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	9 人	1 人	14 人

前回の改善計画
個々の考え方の違いで「出来ている」「出来ていない」に答えが分かれる。地域資源等の質問について理解がバラバラである。
議事録を確認する

前回の改善計画に対する取組み結果
地域の資源について知りえた情報を互いに共有していくことが必要であり、まだまだ理解を深めていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	9	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	11	2	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	9	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	6	1	14

できている点
ご家族の面会時は、日頃の生活状況を話したり、ご家族と会われた時には、とても喜ばれていることを伝え協力を得ている。サ高住に住まれている方は1週間に1回ゲームや茶話会を通して交流の場がもてている。社会資源として医療法人みやうちの行事等に参加が出来る。家族介護者について関係性は出来ていると思う。サ高住に住んでいる人については、管理人からのいろいろな情報が得られ、デイ利用時以外の過ごし方がなんとなく分かっている。

できていない点
管理者、ケアマネのほうから情報を得ることが少なかったので知り得る努力をする。利用者の方個々によって環境も違い家族で深く関わっている方は以外と地域での役割や生きがいは見出せていない。また、サ高住に半数以上の利用者が住んでいることもあり外(地域)には出ていない。民生委員とのかかわりについて十分に把握が出来ていない。地域の人や民生委員と話をしたことがほとんどない。自宅での過ごし方や地域の方とのかかわりはあまり理解できていないと思う。独居の利用者についてはどのように過ごしているか不明である。

次回までの具体的な改善計画
地域との関わりは難しいところがある。これまでの関わり・今の関係を崩さないよう良い関係を取り持つ。利用前に面談にて地域との関わりを確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

5.多機能性ある柔軟な支援

メンバー 河口・青木・河田・花田・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12 人	2 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画
利用者様の状態に応じ柔軟な対応はよくできているので、このまま継続して行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人の状態やニーズに合わせて柔軟な対応が出来るように皆で連携しながら努力している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	9	2	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	3	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	5	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11	3	0	0	14

できている点
職員間でよく話し合い利用者様の変化にも気づきとても柔軟に対応できていると思う。ニーズに応じ柔軟な対応支援ができています。緊急時の対応が出来ている。配食サービスの利用をして頂いたり、市民センターでの集いに参加している。

できていない点
地域での資源の活用が出来ていない。社会資源の理解不足。費用面制約がありサービスの量が増やせない人がいる。地域の資源等アドバイスが出来ない。

次回までの具体的な改善計画
利用者様に必要な地域の資源の架け橋ができるように、そのためにはスタッフが勉強し理解する必要がある。SOSネットワーク・成年後見制度等の情報を知り提供する。一覧を作り勉強会をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

6.連携・協働

メンバー 河口・青木・河田・花田・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画
色々なボランティアさんに声かけしホームに来てもらえるよう努める

前回の改善計画に対する取組み結果
地域の方が事業所を訪れることはほとんどないが、ボランティアの受け入れについては、積極的に行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所)との会議を行なっていますか?	1	6	4	3	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	8	2	3	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	9	3	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	2	9	14

できている点
市民センターのつどいに参加している。医療法人みやうちの開催イベントには参加している。医療法人内の消防訓練に参加している。地域ケア会議に参加し皆さんの意見を聞きながら支援できるように努めている。地域包括支援センターからの緊急支援の紹介もあり可能な限り受けている。定期的にボランティアの方が体操や篠笛にきてくれる。

できていない点
サービス機関、自治体等の会議に個人としていく事はない。管理者が行っているか分からない。ボランティアに積極的に声かけしていない。各会議への参加は出来ていない。地域の会合活動やイベントには参加できていない。地域の方が遊びに来ることがない。(小規模の施設が知られていないため)他のサービス機関との連携はあるが会議への参加はない。利用者以外の高齢者や子どもたちが訪れるような行事や活動をしていない。個人では出来ていないが管理者より情報提供があり共有している。

次回までの具体的な改善計画
案はいくつか出ているも実現は出来ていない。利用者様の安全面を考えると難しい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

7.運営

メンバー 河口・青木・河田・花田・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	4 人	2 人	14 人

前回の改善計画
地域の捉え方を今一度職員で確認する

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様やご家族の方のご意見を運営に反映させるべく、ご意見を頂いたら、そのつど検討を行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	7	5	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	3	3	3	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行なっていますか?	3	5	4	2	14

できている点
情報を共有し、改善したり、問題提起したりと積極的に取り組んでいる。家族からの意見要望にはすぐに対応している。個人としては意見を言えていないが、他職員はしっかり発言している。地域の方から利用者様を心配していろいろ意見を頂いているがその都度対応している。運営推進会議で意見を聞いている。法人として認知症カフェの開催を行っている。日曜祝日の送迎が出来るようになった。送迎時に家族から要望等を聞き申し送りノートまたは口頭で伝え共有している。

できていない点
地域の方と直接お会いすることがなかった。(管理者やケアマネが会っている)積極的に地域と協働した取り組みは出来ていない。小規模多機能についての理解が十分に出来ていない。地域からの意見がない。法人の中の関わりが強いため地域との関わりが薄くなっている。職員が地域との協働に参加が出来ていない。事業所のあり方について話し合ったことがない。地域の方からの意見苦情があるかどうか分からないが、運営推進会議の議事録に目を通していなかった。

次回までの具体的な改善計画
運営推進会議の議事録は必ず目を通す。お買い物ツアー、外食等計画を立てて行ったら喜んでもらえるのでは? 近所に出かけるのも地域との関わりになる。要望を少しずつでも受け入れ変わってきている。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

8.質を向上するための取組み

メンバー 河口・青木・河田・花田・中谷・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	7 人	0 人	14 人

前回の改善計画
研修に行った内容を、カンファレンスで報告したり 資料を回覧する

前回の改善計画に対する取組み結果
研修に一人1回は参加することを目標にスキルアップを心がけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内、職場外)を実施・参加していますか	8	6	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	6	1	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	4	6	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	8	1	0	14

できている点
院内院外の研修に参加している。ヒヤリハットを書き再発防止に取り組んでいる。月に1回の院内研修があり、そのうち年に何回かは全員参加の研修を行っており参加は出来ている。地域で行われる研修にも参加している。

できていない点
小規模多機能の連絡会が以前はあったが今は中断している。あった時には参加していた。地域連絡会の内容開催について知らないためもっと情報収集していきたい。地域連絡会への参加が出来ていないのは行政との関わりが薄いためと思われる。蜜に連絡を取っていく必要があると思う。

次回までの具体的な改善計画
資料を回覧する。研修内容を全体会の時に報告するようにする。 現在地域連絡会がなく行われていない。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 19 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9.人権・プライバシー

メンバー 河口・青木・河田・花田・中谷・岡本・小笠原・高田・松田・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	2 人	1 人	14 人

前回の改善計画
プライバシーに関する研修にも参加して研修内容を共有してスタッフの意識を高める

前回の改善計画に対する取組み結果
虐待防止研修に参加するなどし、ご利用者様の尊厳を守るべく取り組んでいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	0	0	0	14
②	虐待は行なわれていない	14	0	0	0	14
③	プライバシーが守られている	5	9	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	8	0	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	6	0	1	14

できている点
安全への配慮で見守りが主である。行動の制限は離設等の危険を及ぼす行動のみ行うことがある。個人情報の管理は徹底している。身体拘束や虐待は行われていない。プライバシーの流失も防げている。成年後見制度を利用している方がいる。

できていない点
排泄の介助時居室のドアを閉め忘れる。成年後見制度の活用が出来ていない。(成年後見制度の必要な利用者がいないため)必要な方に成年後見制度を活用しているかのところで、「かけはし」との違いが理解できていない。排泄に関してもう少し配慮がほしい時がある。(大きい声で便が出た等介護して行く中で慣れとなっている)個人情報の管理の仕方(ノートにはさんで回覧しているが時々不明になることがある)

次回までの具体的な改善計画
プライバシーについては特に排泄介助時、個々で注意していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表(2018年度)

法人名	医療法人みやうち	代表者	野村陽平	法人・事業所の特徴	併設の病院を中心とした、近隣事業所との交流を行い、ご利用者様が、閉じこもることのない環境を提供している。また、個々の健康に配慮し、体調の変化に注意しながら、病院とも連携をとり、異常の早期発見に努め、ご本人はもちろんご家族にも安心して生活していただけるようにしている。
事業所名	小規模多機能ホーム 宮内温泉湯治の館ひまわり	管理者	河口美栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	1人	3人	1人	3人	2人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者様の今までの生活を知ること、より良いケアに繋げていけるように情報を収集する。そのために、ご家族とのコミュニケーションを積極的に行っていく	訪問時等、ご家族ご本人が不安にならないような声掛けを行い、満足いただけるように努めることができた	自己評価について、事業所全体で、取り組んでいることがわかった	口頭での職員間での周知徹底ではケアを共有することが難しいので大切なことはノートを活用していく
B. 事業所のしつらえ・環境	夏祭りや家族会のご案内をすることで運営推進会議だけでは分からないご利用者様の様子や施設の環境等について見ていただく	ご家族の訪問の頻度は増えているが、離脱し、危険なご利用者様も利用しているために鍵がかかっていることもあった	不快な音や臭いはなかった。今後も居心地のいい空間を望む	足湯を利用するなどして、事業所に入りやすい工夫を行っていく
C. 事業所と地域のかかわり	地域の皆様が気軽に立ち寄れる健康フェアや夏祭りを通して交流を深めていく	法人全体で取り組んでいる、健康フェアを活用することができた。クリスマス会を家族会と兼ねて行うことで、ご家族との交流は増えた	職員が、地域の行事やイベントに参加している様子がわからない。地域の人にまだ、知られていない	作品展や健康フェアを通じて、知ってもらうように今後も継続していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣との関係を断ち切らないように、小規模職員がご利用者様と共に地域の中に入っていく	市民センターでの集いや認知症カフェに出向いた。健康フェアでバザー等に参加している	地域との関係性について、わからないことが多い。取組みについてわからない	認知症カフェへの参加を継続していく。事業所内だけでなく、近所の人とも話ができるように外出を増やしていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議でも、ご家族やご利用者様の要望を聞きながら小規模の充実を図り、地域の人にも知っていただける会議を目指す	行事の内容を写真とともに説明することで小規模の活動内容を知ってもらうことができた	事業所の取組みがよく分かった。運営推進会議で、要望を聞いてもらうことができる	地域の心配の方々の事例検討など、運営推進会議を活用し話し合えるように努めていく
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の様子を伝える写真等も用意して運営推進会議で話をする	写真を交えて伝えることができた。法人主導で、コミュニティと一緒に大規模避難訓練が実施できた	防災訓練に参加したことがないとの意見が多かった	今後も事業所の防災計画について話し合ったり、防災訓練を通じて、事業所が頼りになる存在であるようにしていく